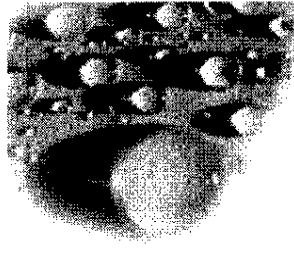
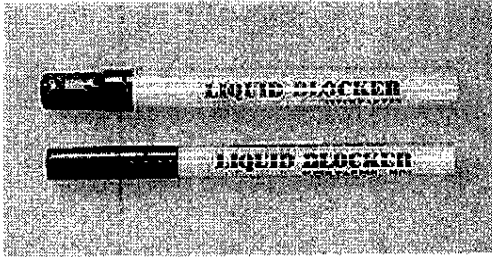


DAI #PAP-S
 #PAP-SM 1/2

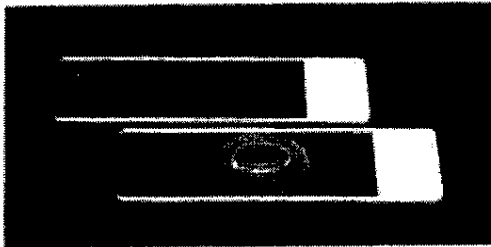

スーパー・パップペン [リキッドブロッカー]

SUPER PAP PEN / LIQUID BLOCKER

価格表



● パップペンは2000年夏に製造中止となり、スーパーパップペン[リキッドブロッカー]に統一されました。

<p>用途</p>	 <p>免疫組織化学染色用ツール</p>
<p>特長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●免疫組織化学染色法において、スライドガラス上の検体周囲に撥水性サークルが簡便に作れます。抗体やPBSの流失を容易に防止することができます。 ●リキッドブロッカー／パップペンは組織染色作業に不可欠なツールです。リキッドブロッカーは、従来のパップペンを大幅に進化させた <i>SUPER PAP PEN</i> です。 ●性能向上で免疫染色(PAP法、ABC法など)、蛍光抗体法での使用範囲が広がります。 ●作業工程での耐熱性が120°Cまで向上しました。濡れたまま塗布できるようになり、従来必要であった濡れたスライドガラスの拭き取り乾燥作業は不要です。 ●スライドガラスへの密着はさらに確実になり安心して染色作業がおこなえます。 ●撥水性にすぐれ作られたサークルはアルコール、アセトンに難溶性で、キシロールに溶解します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="861 1052 1029 1299">  <p>120°C</p> <p>LIQUID BLOCKER</p> </div> <div data-bbox="861 1321 1029 1545">  <p>60°C</p> <p>PAP PEN</p> </div> </div>
<p>使用方法</p>	
<p>注意</p>	<p>MSDS CAUTION</p>
<p>参考</p>	<p>ティッシュキャプチャーとの併用をお勧めいたします。</p>



Q&A

● パップペン製造中止の理由

パップペンは主成分に1-1-1トリクロルエタンを使用しております、当薬品はオゾン層破壊物質として法律の規制対象となっております。環境対応とあわせて品質向上が計れましたので、製造中止とともに新製品スーパーパップペン[リキッドブロッカー]へ移行されることにご理解のほどお願いする次第でございます。

● サークル除去とキシロール

従来パップペンはキシロールに浸漬するだけで溶解しました。スーパーパップペンでは溶解しません、キシロールをティッシュペーパー等に含ませ拭き取ってください(物理的な力で容易に拭き取れます)。理由は耐熱温度改善のため、組成を軟質樹脂から硬質樹脂に変更したためです。

なお、従来パップペンと同様にサークル皮膜厚は薄いものです。サークルを残したまま封入しても検鏡の妨げにならない場合も多いようです、お試しくださいようお願いいたします。



京都大学/生体機構学 Unit of Anatomy and Cell Biology

京都大学/生体機構学/ラボマニュアル集

東京大学医学部生化学教室(細胞情報研究部門) ラボマニュアル(改訂版)

リキッドブロッカー / バイオイメージャーペン液漏れ防止法

1. 使用前に必ずペンを上に向け、ペン先(チップ)を押して容器内の空気を抜いてください。①
2. ペンを下に向け、ペン先を押した状態で液が染み込むまで静かにお待ちください。②

ペンを上下(ペン先のアクション)するとチップホルダー部分に余分な液がたまり、液漏れの原因になります。

3. チップホルダーの余分な液をボディに戻すため、再度①を行ってください。③

この時、ペン芯とホルダー結合部分に液が残っているとボディ内のエア交換が出来なくなり液漏れの原因になりますので、余分な液はティッシュ等で拭き取ってください。

4. チップから液が出なくなりましたら上記①から③を繰り返してください。

